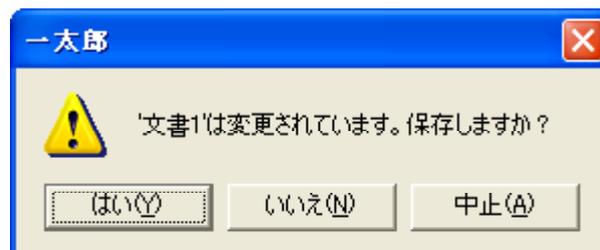


yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No.15
平成19年6月4日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

コンピュータに優しく



よく見る画面ですね。このとき、みなさんはどうしますか？

保存したいときは、もちろん「はい」ですから、マウスで「はい」をクリックしますね。保存したくないときは、「いいえ」、まちがってこれを出してしまったときは、「中止」です。

でも、これをよく見てください。三つのボタンのうち、「はい」だけは表示が違ってきます。「はい」の枠の色がはっきりしていて、点線の枠が付いています。

これは、コンピュータが、三つの中であらかじめ「はい」を選択して(※)、「これでいいですか？」と聞いているのです。

だから、コンピュータの選択と自分の意見が一致したら、「それでいいよ」と返事してやればいいのです。

このときに使うのが、Enterキーです。Enterキーは、「決定」「承諾」「同意」「OK」の意思表示です。

「そうだよ」と言ってやるのは、子どもにとっても優しいですね。

せっかく「〇〇でいい？」と聞いているのに、ただ「〇〇しろ」というのは、優しくないです。

※このように、コンピュータがあらかじめ選んでおく設定のことを、デフォルト(省略時の値、既定値)と言います。なぜ「値」というと、コンピュータの中は、1(オンの状態)と、0(オフの状態)の二つしかなく、この二つの状態をひたすら並べて考えているわけで、何を決めるにも、「値」(1と0の組み合わせ)で判断するしかないからです。

コンピュータを「動かす」のではなく、コンピュータとコミュニケーションをとりながら作業を進めていく、という姿勢をもてると、「うまく動かない」というストレスも、少しは軽減されるのではないのでしょうか。